



フェロー 故 戸谷 洋一郎氏

追悼

戸谷 洋一郎先生を偲んで

原 節 子

(成蹊大学理工学部)

本会フェローでいらっしゃる戸谷洋一郎先生が昨年11月1日に永遠の眠りに就かれました。3ヶ月の短い闘病生活の後のあまりに突然のお別れに言葉もなく、ただただご冥福をお祈りするばかりでございます。

先生は1940年7月2日に千葉県千葉市でお生まれになり、県立千葉高等学校を経て成蹊大学に入学され、大学院修士・博士課程を修められました。1973年に成蹊大学工学部助手として松尾登先生主宰の油脂化学研究室に着任され、その後、研究室の後継者として33年間の長きに亘り、講師、助教授、教授として教鞭をとられ、250名余の卒業生を送り出されました。学生に対するご指導は優しさと厳しさに溢れ、その情熱は一人ひとり卒業生の胸に深く刻まれております。11月4、5日に行われましたお通夜・ご葬儀に多くの卒業生が参列したことが卒業生の戸谷先生への思いの深さを物語ってございました。先生も数多くの卒業生に見送られた旅立ちをきっと喜んでいらしたことと思います。成蹊学園の名前の由来である「桃李不言 下自成蹊」をまさに実践された教員生活でいらっしゃいました。

学会においても編集委員長、総務委員長などの数々の要職に就かれ、2002年には創立50周年記念油化学年会の実行委員長として、無事大役を果たされました。また、学会内での親睦のためにオイルカップスポーツ大会を伊藤俊洋先生、和田俊先生とともに始められたことをご記憶の方も多いことでしょう。テニスやボウリングの会場探し、参加者の勧誘そして賞品の準備まで、大変楽しそうに精力的に行っていらっしゃったお姿を今でも鮮明に覚えております。

研究においても多くの業績を残され、1999年には「高度不飽和脂質の利用に関する研究－高度不飽和脂質の調製と酸化防止－」というタイトルで油化学論文賞を受賞されました。また、リン脂質の研究にも早くから取り組まれ、機能性リン脂質の調製やリン脂質の酸化防止能についての多くの報文を発表されました。毎年開催される油化学年会では、油化学関連の企業や機関に所属する多くの卒業生に会うことをいつも大変楽しみにされていらっしゃいました。

また、成蹊大学ご退職後は公益財団法人日本油脂検査協会理事長として、食用油脂の品質向上や油脂に対する情報提供などに力を注がれ、多大な貢献をされて来られました。この先もずっと卓見をお聞かせいただけると信じておりましたので、突然取り残された関係者一同の消失感ははかりしれません。

今、ご逝去から2ヶ月が経とうとしていますが、いまだに現実とは受け入れがたく、ふっとお声が聞こえるような気がしてなりません。きっと先生は常に私達の進む道を照らし、温かく見守って下さっています。先生のご薫陶を胸に、私達はどんな事にも真摯に取り組み、一步一步前へ進んでいくことをここにお誓い申し上げます。

戸谷先生 本当にありがとうございました。

合掌